

事務事業 No./名 称	■サービス部門 環境-07 分別運営事業 □支援部門							
主管課	資源循環課		関連課	環境センター・環境施設課				
分野名	生活環境							
目標 (目標値)	廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指す。平成27年度のリサイクル率を60%とする。							
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考			
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯				
	事業の対象者数							
運営資源 状 況	決算値(千円)	446,050	741,689	706,970				
	(国・県)			447				
	(負担金等)	97,962	197,914	230,451				
	(一般財源)	348,088	543,775	476,072				
	人員配置数	3.0	3.0	3.0				
	人件費(千円)	25,940	26,817	27,171				
	協働の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	471,990	768,506	734,141				
	市民1人当 りの経費(円)	2,663	4,337	4,144				
	対象者1人 当りの経費(円)							
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	横浜市	横須賀市	逗子	藤沢市	鎌倉市		
	1人当たりのごみ排出量	937g	992g	990g	882g	1,063g		
	リサイクル率	25.6%	34.7%	25.5%	32.0%	47.7%		
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)	
ごみ焼却量	◎	目標値	40,340t	39,700t	39,745t	38,523t	29,923t	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	40,173t	40,389t	39,100t	37,891t		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止									
分別運営事業	290,931千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
	事業の概要	資源物やごみを品目別に分別し、資源化を民間委託する事務及びクリーンステーションのごみ散乱やカラス被害を防止するため、ごみ散乱防止ネットを貸し出す事務													
分別運営事業(新)	153,097千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	今泉クリーンセンターにピット前検査機を設置し、排出事業者や収集運搬事業者への啓発、指導を行う事業及びペットボトル、容器包装プラスチック、布団・畳の資源化を民間委託する事務													
分別設備運営事業	2,022千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
	事業の概要	燃えないごみ、危険・有害ごみ等の資源化のための施設・設備の管理等に関する事務													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	事業系ごみの発生抑制と資源物等の分別徹底。		
課題解決のための取組	事業系ごみの分別徹底を図るため、条例改正を行い、ピット前検査強化による分別状況が悪い事業者・許可業者への発生抑制・分別徹底の啓発活動・指導の実施。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	平成27年度の年間ごみ焼却量29,923tの達成にむけた事業系燃やすごみの削減。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○			課長等名
		③有効性 ○			
		④公平性 ○			
				A	担当課長 小澤 圭介

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
分別運営事業	主な個別事業	1,211 廃乾電池・廃蛍光管資源化処理業務現地確認	74	0	△	△	△	△
		1,211 ごみ散乱防止ネット等消耗品費	612	612	○	○	○	○
		1,211 不燃ごみ資源化処理委託	78,353	88,350	○	○	○	○
		1,211 容リ協会再商品化処理委託	2,137	1,909	○	○	○	○
		1,211 木製家具等資源化処理業務委託	5,250	11,321	○	○	○	○
		1,211 紙類等資源物処理業務委託料	175,753	175,753	○	○	○	○
		1,211 鉄屑類等資源化搬送処理委託(名越・今泉)	5,452	6,116	○	○	○	○
		1,211 フロンガス破壊処理委託	42	44	○	○	○	○
		1,211 粗大ごみ等収集用シール販売委託	1,179	1,272	○	○	○	○
		1,211 廃乾電池・廃蛍光管資源化処理業務	6,297	5,554	○	○	○	○
分別運営事業 (新規)	主な個別事業	1,101 搬入物検査及び指導囑託員報酬 2人	1,512	697	○	○	○	○
		1,101 非常勤囑託員費用弁償	120	131	○	○	○	○
		1,101 フォークリフト燃料費	121	68	○	○	○	○
		1,101 損害保険	0	11	○	○	○	○
		1,101 ペットボトル中間処理業務委託料	26,374	27,986	○	○	○	○
		1,101 容器包装プラスチック中間処理業務委託料	99,040	95,713	○	○	○	○
		1,101 布団・畳処理委託料	8,904	6,845	○	○	○	○
		1,101 ピット前検査機電気設備工事	1,000	614	○	○	○	○
		1,101 ピット前検査機購入費(電源供給用発電機含む)	21,158	20,349	○	○	○	○
		1,101 フォークリフト購入費	2,305	683	○	○	○	○
分別設備運営事業	主な個別事業	1,213 事務補助囑託員報酬 1人	1,029	1,028	○	○	○	○
		1,213 事務補助囑託員費用弁償	93	56	○	○	○	○
		1,213 トラックスケール消耗品	10	10	○	○	○	○
		1,213 不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料	1,359	695	○	○	○	○
		1,213 鹿嶋市環境保全協力金	207	233	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							